

Press Release

2008 年 2 月 22 日

報道関係各位

EXP株式会社
株式会社クマノミプランニング



～超大型コンセプト居住区が登場～

セカンドライフでペットと自然好きが集まるコンセプト居住区「ペットビレッジ」を 9SIM でオープン
制作・プロデュース:EXP 株式会社 運営:株式会社クマノミプランニング

<http://slurl.com/secondlife/Pet%20Village%20Japan/128/128/0>

<http://www.pet-v.com/>

この度、インターネット関連事業を行う株式会社クマノミプランニング(*1 本社:東京都港区、社長:三輪 信雄)は、仮想空間総合制作事業を行う EXP 株式会社(*2 本社:東京都港区、社長:野村 友成)のプロデュース、デザインにより、セカンドライフ(*3)内にペット好きが集まる大型コンセプト SIM 群を本年 2 月 22 日にオープンいたします。

「Second Life®」では急速にユーザの成熟化が進み、仮想空間における住居に広さと使用できるプリム数、さらに周辺環境のデザインと治安などへの要望が急速に高まっています。また、共通の趣味や話題によるコミュニケーションを求めるインターネット全体の成熟化も進んできております。

一方で、実際にペット飼っているユーザ同士のコミュニケーションはインターネット上のブログなどで盛んに行われ、ペットを飼っていない、あるいは、飼えない方のネットでのコミュニティの参加も行われています。

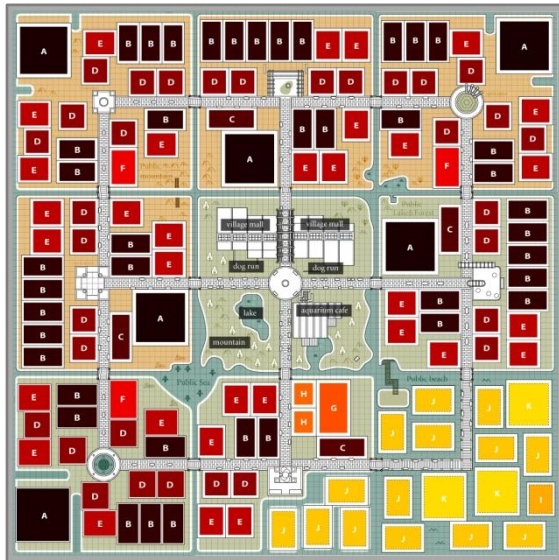
そこで、すでにペットを飼っているユーザや現実世界では飼えないユーザを対象に、ブログなどよりもリアルにペットに関わるコミュニケーションがはかれる SIM を開発しました。

ユーザは、ブログなどの非同期ではなく同期のとれた対面コミュニケーションを行えます。また、ペットを飼えないユーザでも仮想空間の自分の住居でペットを飼ったり散歩をしたり、周辺の住民と会話を楽しみ、新しい「仮想空間ペット市場」の開拓が期待されます。

SIM は 9 個から構成される大型 SIM で、中央に巨大モールや水槽をモチーフとしたカフェ、ペットと楽しめるサンドボックス公園など、今回コンセプトの象徴となるハイクオリティな景観と施設が EXP 株式会社によりデザインされ、ユーザに提供されます。

景観を重視してデザインされた住居区画は、従来より広く設定されており、これまでになかった商業施設禁止の住居専用 SIM など、既存の SIM と比べ、より【プライベート感を演出】してあります

また、入居申し込みや支払いをオンラインショッピング感覚で行える、セカンドライフ賃貸情報サイト (<http://shop.crownfish.co.jp/>) も併せてオープンいたします。



(*1)「株式会社クマノミプランニング」(<http://pet-v.com/>)

インターネットにおける事業支援コンサルティングを中心に事業を展開。セカンドライフ内にバーチャルカンパニー「クラウンフィッシュ」を持ち、仮想空間と現実空間の融合による新しいライフスタイルを提案している。この度のコンセプト SIM を皮切りに、趣味などの共通の話題でコミュニケーションできる SIM を提供、SNS などの非同期コミュニケーションと連動した同期型コミュニケーションでフランチャイズ展開を図っていく。

(*2)「EXP 株式会社」(<http://exp-secondlife.jp/>)

セカンドライフをはじめとするバーチャルワールド専門の開発会社。昨年、日本語版開幕前に製作したユーザ参加型エンターテインメント SIM「KABUKI」が国内海外メディアから多く評価される。その後は、企業 SIM まで製作を広げ、多数の企業 SIM の製作を手がけ、実績を残す。2月7日にセカンドタイムズが主催するバーチャル・ワールド・アワードリアルタイムチャット翻訳ツール「EXP」が大賞を受賞。直近製作実績は朝日放送 SIM (共同運営サイバーアドベンチャ社)。初心者用の施設として、刑務所を舞台にした。ENTAMA-SIM「脱獄チュートリアル」を製作。セカンドライフ内のアクセス解析 web アプリ「イグアナ」etc. 社名の由来は「experience」。

(*3) 米国 3D バーチャルコミュニティ・サービス「セカンドライフ」

米国 Linden Research 社が運営する WEB2.0 型 3D 仮想空間で、2007 年 10 月末時点で、100 カ国以上から 950 万人以上の登録ユーザ数を持つ。みずほコーポレート銀行産業調査部発行の「Mizuho Industry Focus」によると、この仮想世界のグローバルなユーザ数は 2008 年末までには 2 億 5 千万人に増加し、同空間で流通する仮想通貨「リンデンドル」の年間取引額は 1 兆 2500 億円に達するであろうと公式発表している。

